大阪大学大学院人間科学研究科
附属 未来共創センター

老いと死の研究ラボ　ー幸福長寿研究会ー

老いと死の研究ラボとは

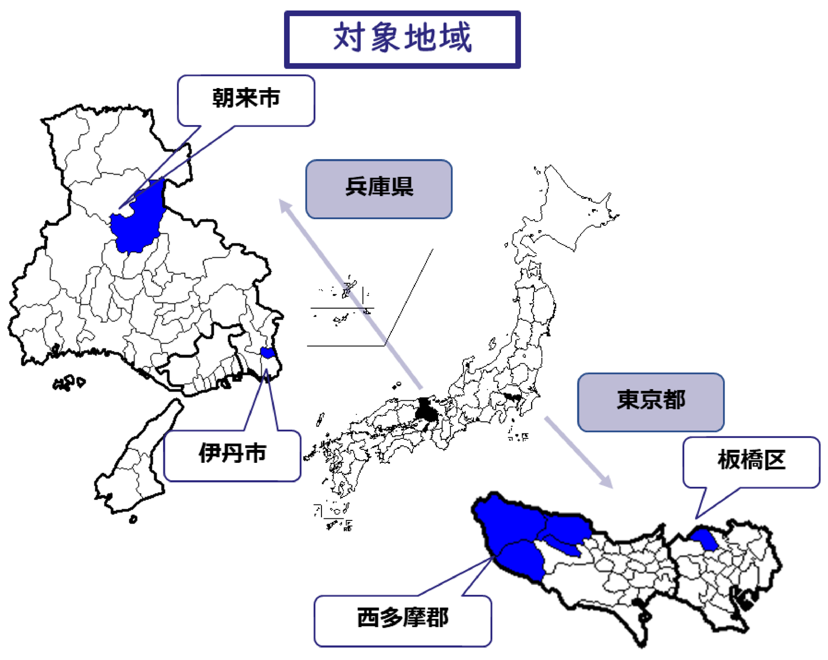
「老いと死の研究ラボー幸福長寿研究会ー」は、長寿社会における、学問領域と地域の課題を融合し、解決することを目指しています。このラボは、①大阪大学内における学際的老年学研究のネットワーク拠点　②国際的な老年学の研究拠点　③自治体や民間企業との共同事業の拠点として、研究・交流事業・勉強会などの様々な領域で、活動を展開しています。

研究

健康長寿研究（ＳＯＮＩＣ）

■ 研究概要

健康長寿研究（ＳＯＮＩＣ）は、老いと死の研究ラボがサポートしている長期縦断研究プロジェクトです。このプロジェクトの目的は文系、理系といった**学問領域の垣根を越えて**、人間の老化プロセスを明らかにし健康長寿の要因を探索することにあります。よってＳＯＮＩＣには、人間科学研究科、医学系研究科、歯学研究科に所属する研究者が参加しています。また、この研究は、東京都健康長寿医療センター研究所と共同で実施しています。ＳＯＮＩＣの調査フィールドは関東地区（板橋区、西多摩地区）、関西地区（伊丹市、朝来市）の4つの地域から構成されていますが、大阪大学はこの中の関西地区の調査を中心に担当しています。



詳しくは専用のHPへ→

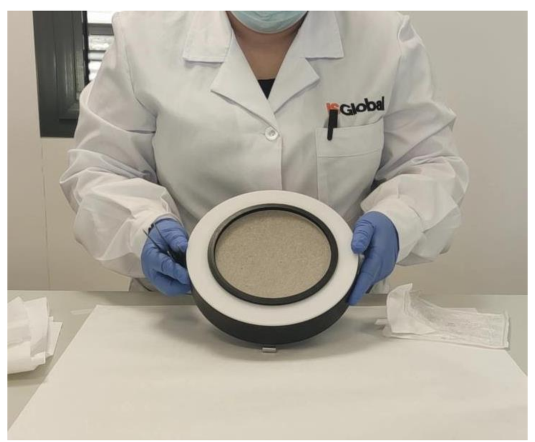
SONIC研究

気象と健康の関係の研究

■ 研究概要

近年注目されている、気象変化（天候、気圧、大気汚染）と心身の健康との関連を解明することを目的とした研究を始動しました。これまでに、2022年5月31日から6月30日にかけて、大気中の様々な滞留物質をサンプリングしました。この研究は、**スペインの気象力学の研究者との共同研究**です。

人間科学部棟の屋上にサンプラーを設置

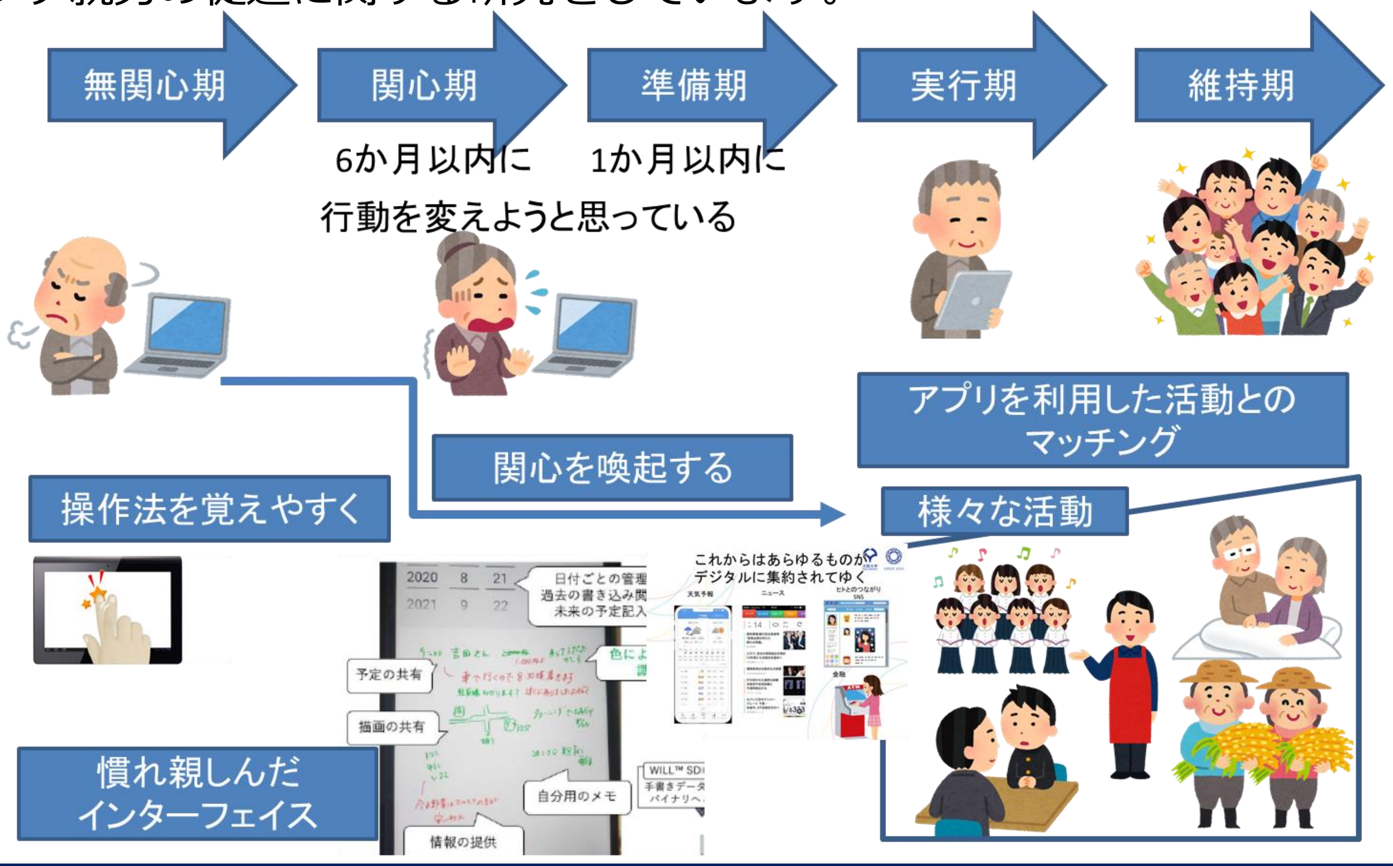


フィルターに滞留物質がついている

高齢者の社会参加の研究

■ 研究概要

NPO法人「健康・生きがい就労ラボ」と共同で、高齢者のスマホの操作プログラムの開発や、プチ就労の促進に関する研究をしています。



交流事業

世代間の相互理解を促進するための出張講義

■ 事業内容

「最近の若者は頼りがいがない」「高齢者の考え方は古い」というような言葉を聞いたり、使ったりしたことがある人は多いと思います。実はこのような世代間での不理解は、平安時代中期に清少納言が「枕草子」の中でも述べており、それ以降も決まり文句のように言い継がれています。本事業では、なぜ私たちは「最近の若者は頼りがいがない」「高齢者の考えは古い」と言い続けるのかを、社会学的な説明を紹介しながら、シニアと大学生で話し合い、世代間の相互理解を深めることを目的としています。

2021年度に誕生した新しい事業ですが、これまでに兵庫県伊丹市、大阪府吹田市、静岡県浜松市の市民センターや高齢者住宅に出張講義に伺っています。「仕事観」「幸福感」「人生における夢」など、出張講義を希望される地域や団体の関心事項に合わせて、世代によって考え方の差が生じる理由を一緒に考えるきっかけ作りをしています。

■ 問い合わせ先

出張講義に興味をお持ちの方は、下記のアドレスにご連絡ください。
s.yasumoto.hus@osaka-u.ac.jp (大阪大学人間科学研究科　安元佐織)

学生と老いをともに学ぶ（通称「老いとも」）

■ 事業内容

兵庫県伊丹市にある伊丹市立生涯学習センター（ラスタホール）で毎年開催している企画です。大阪大学人間科学部の教員や学生が企画を考案し、様々な角度から「老い」について市民の方々と学び語り合うことを目的としています。

■ 最近の企画例

2017年度「死生観：生を考えることの意味」
2018年度「創造性の生涯発達」
2019年度「『あの日、あの時』―思い出の心理学―」
2022年度「100分de人生哲学
　～好きなことわざは何ですか？～」

■ 問い合わせ先

老いともに興味をお持ちの方は、下記のアドレスにご連絡ください。
a-kasuga@hus.osaka-u.ac.jp（大阪大学人間科学研究科　春日彩花）

勉強会

老いと死の研究ラボ勉強会

■ 勉強会概要

老年学に携わる研究者や、長寿社会の課題に取り組んでいる企業の方などを講師としてお招きし、不定期で勉強会を行っています。対面とZOOMのハイブリッド形式で開催しており、大学・研究機関の関係者や専門職の方のみならず、一般の方まで、幅広くご参加いただいています。

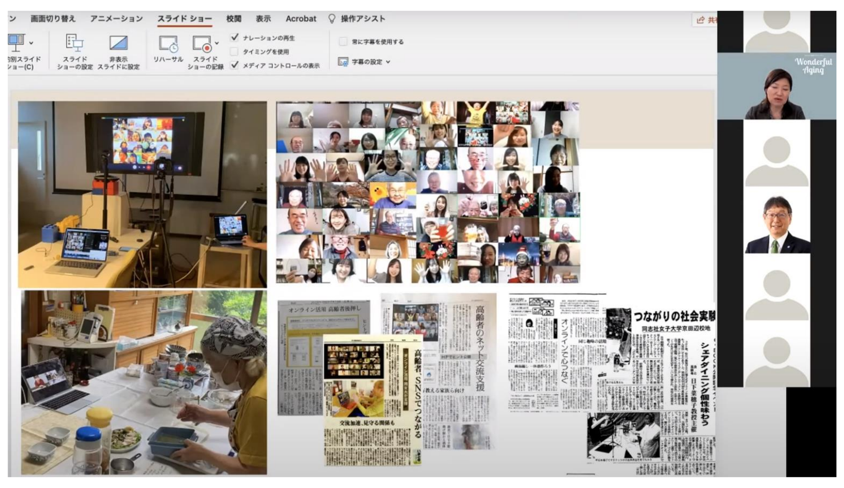
第1回：地域で実装可能なwell-beingを共創する社会システムの設計
（日下菜穂子 氏：同志社女子大学現代社会学部社会システム学科）

第2回：知っておきたい「オーラルフレイル」のABC
（池邉一典 氏：大阪大学大学院歯学系研究科）

第3回：地域行政における高齢者の健康寿命延伸に向けた取り組み
（樺山舞 氏：大阪大学大学院　医学系研究科）

第4回：高齢者のプチ就労の企画・開発について
（遠座俊明 氏：大阪ガスネットワーク㈱エネルギー・文化研究所）

第5回：高齢者の認知機能や日常生活技能を向上させる生活介入技術の開発と実証
（野内類氏：東北大学 加齢医学研究所認知健康科学研究分野）



サポーター募集！

「老いと死の研究ラボ」は、サポーターを募集しています。サポーターとして登録いただいた方には、勉強会やイベントの情報をご連絡します。ご興味をお持ちの方は、下記QRコードよりお申し込みください。

ホームページ

ホームページでも、随時、イベントの情報や活動報告を更新しています。過去の勉強会の動画も公開しておりますので、ぜひご覧ください。

老いと死の研究ラボ